

「新生児期のケアと疾患に関する研究」  
平成9年度全体班会議議事録

日時 : アルカディア市ヶ谷 (私学会館)  
〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25  
TEL03-261-9921 FAX03-3261-7760  
JR線・地下鉄線 (有楽町線・新宿線) 市ヶ谷駅前

出席者 厚生省母子保健課 : 武田 康久

分担研究者 : 大西 鐘壽  
戸苺 創  
藤村 正哲

研究協力者 :

小川班 : 竹内 久彌、高田 昌亮、栗谷 典量、  
板橋家頭夫、井村 総一、磯部 健一

大西班 : 宇賀 直樹、犬飼 和久、志村 浩二、  
仁志田博司、西村 豊、二村 真秀

戸苺班 : 高嶋 幸男、船戸 正久、吉岡 博、茨 聡

藤村班 : 奥 起久子、田村 正徳、河野 寿夫、  
清水 浩、西田 朗

共同研究者 : 岩村 透、嶋田 優美、山下裕一郎、河田 興、  
岩瀬 一弘、高橋 尚人、浜嶋 崇、臼倉 幸宏、  
大久保賢介、箕面 壽至宏、杉浦 正俊、伊藤 裕司、  
藤本 伸治、玉井 晋

その他 : 中村 肇

議事 : (1) 開会挨拶 主任研究者代理 清水浩  
(2) 小川班分担研究報告 岩村 透、竹内久彌、板橋家頭夫、井村総一  
(3) 大西班分担研究報告 二村真秀、宇賀直樹、高橋尚人  
(4) 藤村班分担研究報告 藤村正哲、清水 浩、西田 朗、杉浦正俊、  
伊藤裕司、奥起久子  
(5) 戸苺班分担研究報告 藤本伸治、高嶋幸男、茨 聡、船戸正久、吉岡博  
(6) 厚生省挨拶 武田課長補佐  
(7) 総合討論  
(8) 事務連絡  
(9) 閉会

分担研究「胎児・新生児の発育に関する研究」  
分担班会議議事録

日 時：成10年2月4日

場 所：スクワール麹町

出席者：分担研究者 小川雄之亮  
研究協力者 栗谷 典量、磯部 健一、竹内 久彌、高田 昌亮、  
板橋家頭夫、井村 総一  
共同研究者 岩村 透（以上8名）

議 題：（1）事務連絡  
（2）研究報告  
①出生児体格基準値（岩村透、栗谷典量）  
②極低出生体重児学齢期発育値（板橋家頭夫）  
③成熟度判定法（井村総一、磯部健一）  
（3）その他

分担研究「ハイリスク新生児の管理に関する研究」  
分担班会議議事録

日 時：平成10年2月14日（土）11:00-17:00（昼食含む）

場 所：高松グランドホテル 3F 祥鳳の間

住所 高松市寿町1-5-10

TEL(代表)0878-51-5757

出席者（敬称略）

分担研究者 大西鐘壽  
研究協力者 伊藤 進、岩瀬一弘、宇賀直樹、  
志村浩二、臼倉幸宏、高橋尚人、西村 豊、大林幹尚、  
二村真秀、河田 興、大久保賢介（以上12名）

議 題：（1）分担研究者挨拶  
（2）各研究協力者の本年度の研究報告  
（3）総合討論

## 分担研究「脳室周囲白質軟化症（PVL）の成因と治療に関する研究」 分担研究会議議事録

日 時：平成9年12月11日（水）午後3－9時

場 所：名古屋市立大学医学部研究棟会議室5

出席者：

分担研究者 戸 莉 創  
研究協力者 高嶋幸男、吉岡 博、船戸正久、茨 聡、  
共同研究者 橋本和広、土井康生、上原久和、玉井 普、安里義秀、  
武隈宗考、藤本伸治、柴田麻千子（以上13名）

議 題：

- （1）定量的解析作業についての報告
- （2）定義に関する最終討論
- （3）各個研究の報告ならびに質疑応答

議事内容：

名古屋市立大学へ郵送していただいた各研究協力者の施設からMRIの画像をNIH Imageを用いて解析が終了し、提示の上、全員で討議した。その結果、MRIの診断精度向上に向けての成果が得られた。また、定義に関する最終討議が活発に2時間以上に渡りなされ、最終案がまとまった。さらに、各個研究では、今年度の病態、病因、治療などにせまる研究結果が提示された。

今回は、きわめて長時間に渡る意義のある会議となり、今後の継続研究の必要性を確認して会議を終了した。

## 分担研究「新生児の慢性肺疾患の予防と治療に関する研究」 第1回研究会議議事録

日 時：平成9年11月28日（火）

場 所：ハッピーホテル沖縄

住所 那覇市首里山川町1-132-1

出席者：

分担研究者 藤村正哲  
研究協力者 奥 起久子、田村正徳、河野寿夫、清水浩、西田朗  
（以上6名）

議 題：

- （1）「Systematic Reviewにもとづく新生児慢性肺疾患」  
（臨床ガイドライン）作成のための最終打ち合わせを行った。

分担執筆にあたっての文献検索は、研究班で統一して次に挙げた資料について行い、各執筆者がそれらに独自に検索を追加して執筆することとした。

Key word: bronchopulmonary dysplasia

Medline 1993-July, 1997

医学中央雑誌、1992-July, 1997

Cochrane Library Systematic Review 1997.

(2) 個別研究の進捗状況について、研究協力者から報告した。

## 分担研究「新生児の慢性肺疾患の予防と治療に関する研究」 第2回班会議議事録

日時：平成10年2月2日（月）午後1時～午後6時30分

場所：ニューオサカホテル

大阪市淀川区西中島5丁14番 Tel 06-305-2345

出席者：

分担研究者	藤村正哲
研究協力者	奥起久子、田村正徳、河野寿夫、清水浩、西田朗
共同研究者	箕面壽至宏、中村友彦、伊藤裕司、川本豊、和田紀久 (以上11名)

議事：

### (1) 事務連絡

報告書の作成について  
全体班会議の準備について  
会計事務について

### (2) 全国調査解析

#### ①慢性肺疾患の発症頻度

調査追加施設を加えて、慢性肺疾患の発症頻度の最終解析について報告した  
(共同研究者 川本)。

#### ②施設の管理ルーチンと発症頻度の関係

各施設ごとの慢性肺疾患発症頻度とその施設の慢性肺疾患管理ルーチンとの関連についての解析について報告した(藤村)。

### (3) パルスオキシメータによる患者評価の解析(共同研究)

班員施設で充実したパルスオキシメータを用いた慢性肺疾患児の酸素飽和度の中間解析結果について報告した。(共同研究研究者 和田)。

### (4) 個別研究報告

各研究協力者が、本年度の個別研究についての成果を報告した。

### (5) 「Systematic Reviewにもとずいた新生児の慢性肺疾患管理」の内容について検討し、指針としての統一などについて討議した。

「指針」の印刷、配布方法について討議し、本年度は簡易印刷とし、その後臨床現場に入手しやすい方法を考えて印刷・配布することとした。